

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究について

1 調査・研究の観点

本市の実態や児童の状況を踏まえて、以下の観点で調査・研究すること。

< 基礎・基本の定着 >

- 教科の基礎的・基本的な内容の定着を図る上での創意工夫がなされているか。

< 主体的に学習に取り組む工夫 >

- 問題解決的な学習、実践的・体験的な学習等を取り入れ、児童の興味・関心を生かし、自ら学び、自ら考える力の育成を図る工夫がなされているか。

< 内容の構成・配列・分量 >

- 学習指導を効果的に進める上で、適切な内容の構成・配列・分量となっているか。

< 内容の表現・表記 >

- さし絵・地図・図表などの資料等が、有効に使われるよう配慮されているか。

< 言語活動の充実 >

- 調べたことや考えたことをまとめて発表する学習を取り入れる等、言語に関する能力の育成を図る工夫がされているか。

2 記述に当たっての留意点

- (1) 各種目別に全発行者の教科用図書について記述し、特徴を一覧表にすること。
- (2) 具体的な事例をあげるなど、各教科用図書の特色を浮き彫りにするよう工夫すること。
- (3) 単に、一般的な感想又は見解及び優劣について述べることを避け、客観的に明らかにし得る事柄を述べること。
- (4) 記載順は、「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」発行者番号の順によること。